



杉並区

歴史に名を残した場所として

3 . 3 . 8
杉並区広報課

荻外荘が、東京都宝くじの図柄に採用されました!

昭和戦前期に内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の旧宅であり、現在、史跡公園としての公開を目指し、復原整備に向けた取り組みを進めている「荻外荘」。

このたび、東京都宝くじの図柄に採用されました。

荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘（てきがいそう）」は、内閣総理大臣を3度務めた政治家・近衛文麿（このえ・ふみまろ）が、昭和12年の第一次内閣期から20年12月の自決に至る期間を過ごし、昭和前期の政治の転換点となる重要な会議を数多く行った場所で、平成28年3月1日には、日本政治史上、重要な場所として、国の史跡に指定されました。この建物は、当初、医師で大正天皇の侍医頭（じいのかみ）を務めた入澤達吉（いりさわ・たつきち）の別邸として、昭和2年に創建されました。設計は、入澤の義弟であり、日本の建築史学の創始者で、築地本願寺などを手掛けた伊東忠太（いとう・ちゅうた）です。

このたび、荻外荘が第2503回東京都宝くじの図柄に採用されました。この宝くじは、都内に現存する、江戸時代末期から明治・大正・昭和、そして平成にかけて歴史に名を残した場所を図柄にし、東京という街を改めて知っていただくことをコンセプトとしています。発売期間は、令和3年4月21日（水）から5月11日（火）までです。

区では、ふるさと納税制度を活用した寄附を募りながら、昭和35年に豊島区内に移築された部分の再移築など、令和6年12月の史跡公園としての公開を目指し、荻外荘復原・整備プロジェクトを進めているところです。

今回、東京都宝くじの図柄となるのは、このプロジェクトで目指す復原後の荻外荘の姿です。

東京歴史の舞台シリーズ No.17 荻外荘(杉並区)

国指定史跡* 荻外荘(近衛文麿旧宅)

東京都宝くじ 第2503回

00組 SPECIMEN 012345

見本 末等は100円

発売 東京都 受託 みずほ銀行

¥100

0123456789
この券枠内の数字は整理番号で、宝くじの番号ではありません。
012345678901

抽せん日 令和3年5月14日(金)
支払期間 令和3年5月19日から令和4年5月18日まで

【問い合わせ先】

都市整備部荻外荘担当：03-3312-2111（内線3441）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）